



# ブラケット リモコン防犯灯 ( SPR-4型 )

## 取付説明書

お願い 施工時、使用の前に検知範囲、点灯保持時間などの調整が必要です。説明書を必ずお読みください。

お客様へ 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、工事店・電器店に依頼してください。

工事店様へ 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

### 安全上のご注意

必ずお守りください

#### 警告

■ 器具の取り付けは施工説明書に従い確実に  
取り付けに不備があると、火災・感電・落下  
によるけがのおそれがあります

■ タイル面など取付面に凸凹がある場  
合は、すき間を埋める



本体パッキンと取付面とのすき間を防水  
シール剤などで埋めてください。  
防水が不完全な場合、火災・感電のおそれ  
があります。

■ 検知部が下になるように  
取り付ける

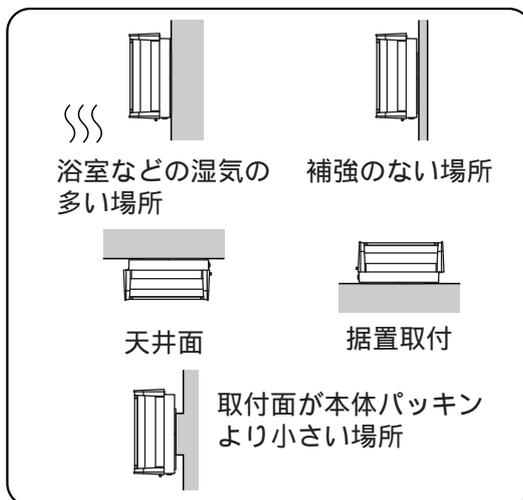
浸水による感電のおそれ  
があります。



■ 交流100ボルトで使用する  
過電圧を加えると過熱し、  
火災・感電のおそれがあります。

■ 以下のような場所に取り付けない

指定場所以外に取り付けると、火災・感電・  
落下によるけがのおそれがあります。



この器具は防雨型・壁面取付専用です。

■ 接地工事は、電気設備の技術基準に  
従って確実に

行う  
接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。

#### 注意

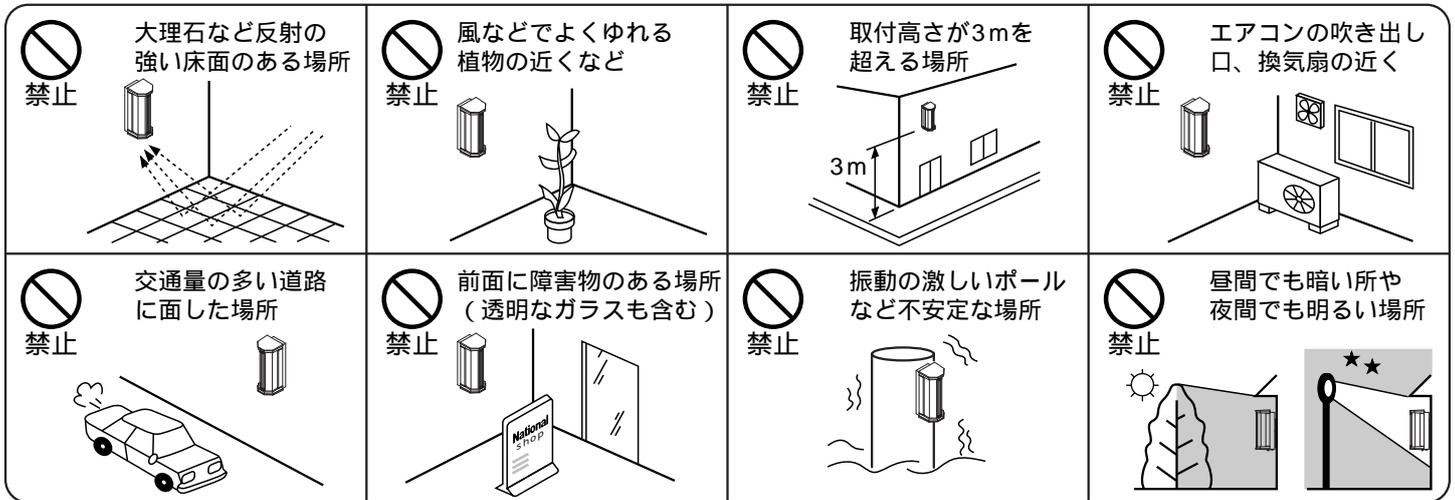
■ 温度の高くなるものの上に  
取り付けない  
火災の原因となることがあります。  
ガス機器やその排気筒の上に取付け  
ないでください。

■ 他の調光器と組み合わせて使用しない  
調光機能が付いた壁スイッチなどと  
組み合わせて使用すると火災の原因と  
なることがあります。  
調光器の取り外しが必要です。

# 施工前にお読みください

## 設置場所についてのご注意

次のような場所には取り付けないでください。  
この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に  
取り付けると誤動作の原因となります。



## 配線についてのご注意

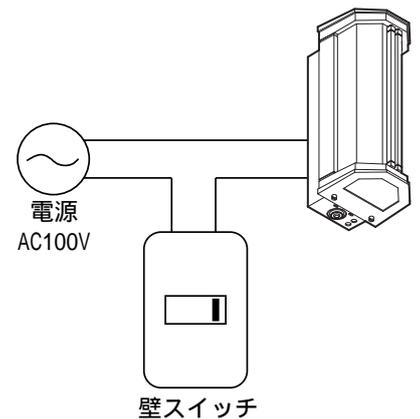
必ず壁スイッチを設けてご使用ください。(スイッチは別途ご用意ください)

通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。

壁スイッチを設けないと・・・

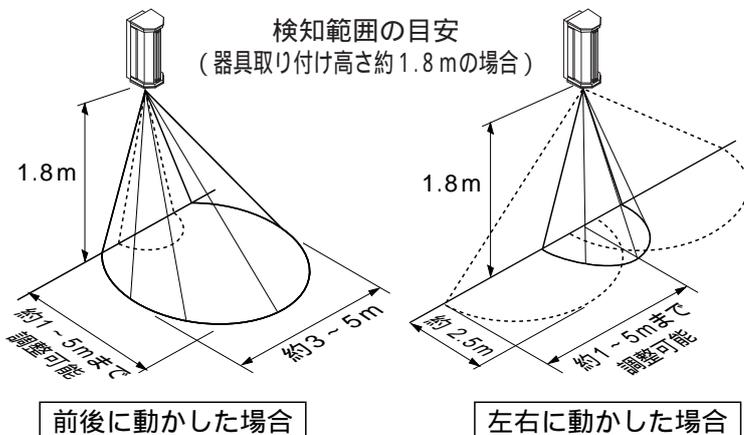
- ・点灯に異常が発生したときに、リセットできません。
- ・長期の旅行時などに、電源を切ることができません。

壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態(センサ待機状態)のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。(故障ではありません)



## センサの検知範囲

センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。(センサの検知部は全方向に約20度動きます)  
器具の取り付け高さ1.8m(標準)~2.5mの間では、検知範囲は変わりません。



### ご注意

この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物、自動車など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。

検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。

センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがあります。器具の故障ではありません。

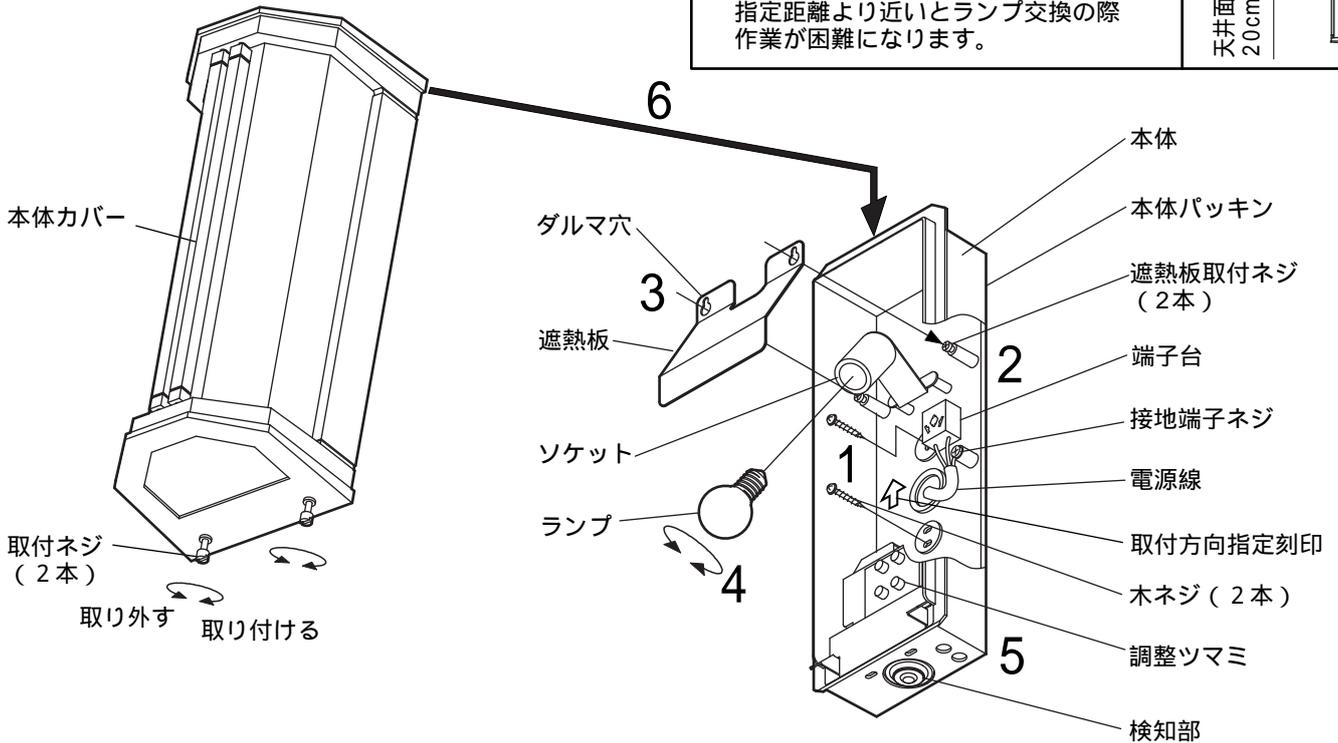
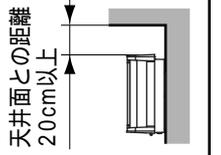
## 調整ツマミの設定について

この器具は取り付け後、ご使用の環境に合わせてセンサの検知範囲、調整ツマミの設定が必要です。  
必ず、4ページ「検知範囲と調整ツマミを設定する」をお読みのうえ、設定してください。

# 各部のなまえと取り付けかた

⚠ 注意 器具取り付けの際は、安全のため電源を切ってください。  
通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

器具と天井面は20cm以上  
離してください。  
指定距離より近いとランプ交換の際  
作業が困難になります。



## 取り付けの前に

取付ネジ (2本) をゆるめて、本体カバーを外す。  
遮熱板取付ネジ (2本) をゆるめて、遮熱板を外す。

### 1 付属の木ネジ (2本) で 本体を取り付ける

壁面の補強材のあるところに  
取付方向指定刻印に従い取り付け。  
取付ピッチ 66.7mm、83.5mm

### 3 遮熱板取付ネジにダルマ穴を合わせ 遮熱板取付ネジ (2本) で遮熱板を固定する

### 4 ソケットに ランプを取り付ける

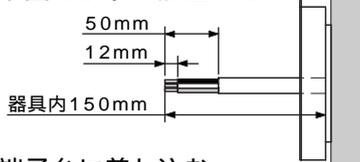
### 5 検知範囲と調整ツマミを設定する (次ページ参照)

本体カバーを取り付ける前に必ず行ってください。

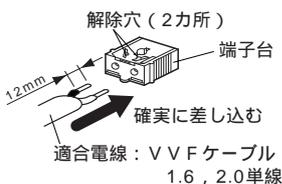
### 6 本体カバーを取り付ける

本体カバーを本体に合わせる。  
取付ネジ (2本) を締め付ける。

電源線を下図のように加工する

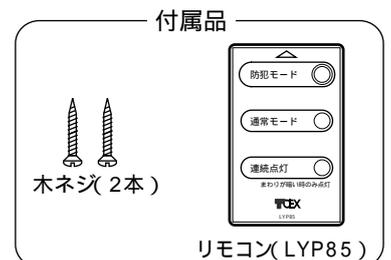


電源線を端子台に差し込む



電源線の外し方  
マイナスドライバーなどで  
解除穴を押しながら  
電源線を引き抜く

接地端子ネジからD種 (第3種) 接地工事  
を行ってください。



リモコンは必ずお客様にお渡しください。

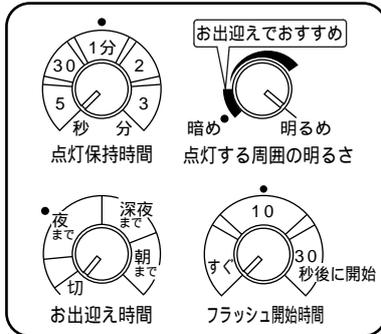
## 設定の前に

- 壁スイッチをOFFにする
- 本体カバーを取り外す

## 1 センサの検知範囲を調整し、点灯確認をする

[手順]

あらかじめ、調整ツマミを以下の設定にする



- |            |                 |
|------------|-----------------|
| 点灯保持時間     | 「5秒」(左いっぱいに戻す)  |
| 点灯する周囲の明るさ | 「明るめ」(右いっぱいに戻す) |
| お出迎え時間     | 「切」(左いっぱいに戻す)   |
| フラッシュ開始時間  | 「すぐ」(左いっぱいに戻す)  |

検知部を動かし、設置場所に合わせて検知範囲を調整する

検知部は、全方向に約20度動きます。  
センサの検知範囲は、 2ページ「センサの検知範囲」を参照ください。

壁スイッチをONにし、センサの検知範囲の外に出る

➡ 約40秒間点灯してから消灯します。

消灯しない場合は、以下の原因が考えられます。

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| お出迎え時間が「切」になっていない           | お出迎え時間を「切」にする                          |
| センサの検知範囲に入っている              | センサの検知範囲から外に出る                         |
| 連続点灯になっている<br>(検知部が赤く光ったまま) | 壁スイッチを一度OFFにし、5秒以上おいて<br>再び壁スイッチをONにする |

消灯したら器具に近づいて、点灯することを確認する

## 2 いったん壁スイッチをOFFにして 使いかたに合わせて調整ツマミを設定する

- |            |                          |
|------------|--------------------------|
| 点灯保持時間     | 「1分」がおすすめです。             |
| 点灯する周囲の明るさ | 「暗め」がおすすめです。             |
| お出迎え時間     | 「夜まで」(約22:00)がおすすめです。    |
| フラッシュ開始時間  | 「10秒後」あるいは「30秒後」がおすすめです。 |

(注) 動作の詳しい説明は、取扱説明書 4ページ「おすすめの使いかた」を参照ください。

## 3 本体カバーを取り付ける

3ページ「各部のなまえと取り付けかた」参照

## 4 壁スイッチをONにする

➡ スイッチONにした直後は周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。